サッカー部公式戦開催におけるガイドライン

大学法人本部

管財課

学生課

サッカー部監督

今成知尚

　新型ウイルス（COVID-19）によって自粛を余儀なくされてきたスポーツ界もようやく世界各国で大半の種目が再開している現状。その中で、サッカー競技は屋外での広い空間での競技であること、試合時間（90分間）の割合に比べ他者（相手競技者）との接触頻度が少ないこと、長い時間密を構成する同じエリアに留まることがない等の見解から比較的プレー中の感染リスクは低いとされています。その反面、運営要員は記録・担架・会場責任者は大会本部にて同じ場所に留まるため、十分な注意が求められます。観戦者については、今シーズンは情勢に関わらず全試合無観客試合が決定しており、対戦チームのメンバー外部員による観戦ならびに応援も禁止されています。

　本部員も7月16日の活動再開からガイドラインに沿った感染防止対策下での活動に積極的に取組み、今ではストレスを感じることなくスタッフの指示前にお互いで注意喚起を促すようになりました。しかしながら時より意識が薄くなることもあるためこの習慣を継続してこそ新たな生活様式になるものと捉えて指導を継続いたします。

　さて、これまでに2つの大会を辞退し、公式戦も残すところ今月末開幕予定のリーグ戦のみとなりました。1部リーグ戦は先週末から一足先に開幕し、我々2部リーグではその観戦対策をベースに取組んで参ります。また、今シーズンは1会場1試合開催を原則とし、審判員を除く運営役員の全てを会場校から配当することが義務付けられ、他会場への人の動きを最小限に抑えます。基本、会場は参加校に均等で割り当てられますが、2部リーグについては既に1部リーグ戦にて会場を使うため、現状会場がない状態です。つきましては、附属高校の公式戦（U-18リーグ・高校選手権予選）や9月20日から本学会場での練習試合が許可された（る）ことを鑑みても大学のグラウンド施設であり、施設設備費を払っている大学生のためにも是が非でも会場提供の許可をお願い致します。

　尚、本公式戦ガイドラインについては、日本サッカー協会・関東大学サッカー連盟・埼玉県大学サッカー連盟からリリースされているものを参考にしつつ、本学独自のより厳しい内容を実施可能な限り設定致しました。つきましてはご一読頂き、許可の程をお願い申し上げます。

【１．各協会および連盟からのガイドライン（主要部抜粋）】

基本的には各協会発信のガイドラインに則って開催する。JUFAコンディションチェックについては義務化されており、項目未入力の選手・スタッフは大会に帯同できないものである。

1）無観客での試合開催

2）最小人数（30名）での開催

3）※1JUFAコンディションチェックリストの作成と2週間分のデータ提出

4）感染者が出た場合の報告義務化と、次節からの大会辞退（大学の対応含）

5）メディア（SNS含）への会場等のリリース禁止

6）選手・スタッフ・運営役員の事後体調観察および報告

【２．本学としての独自のガイドライン】

　基本ガイドラインに則った開催が義務付けられているものの、あくまでスタジアムなど導線や運営が容易な会場がベースになっていることが多いことから本学独自のガイドライン設定施行により、ウイルスの持込みリスクをより減らせるよう努力する。尚、徒歩者は守衛所横にてチェックを行い、車輌は正門入構前に車輌チェックを行い、虚偽での入構を防止する。

**1）大学施設への入構について**

　　a）※2入構者リストの提出による事前の入構者把握と入構者数の制限

　　　　試合前日の17:00を期限とし、学生証もしくは運転免許証・選手登録証のいづれ

かを用いて本人特定と検温作業（検温ルールは本学の定めるもの）を行う。

b）荷物車の事前申請（各大学1台まで）　※入構者リストに記入

c）入退構時の検温チャック　※入構者リストに記入

d）入構時間の設定（原則試合開始2時間前から許可）

　　e）正門からサッカー場までの導線の提示と誘導係の配置

　　f）入退構時の手指消毒およびマスク着用の徹底

**２）控室について**

　　　控室を提供することにより雨天時のためだけでなく、相手選手・スタッフの行動を

ある程度抑制・把握できること、またカフェロータスおよび10号館教室は集中講義

等での使用が限りなくないこと、大きさとしてしっかりと清掃・消毒作業が可能なこ

とから使用を望みます。高校は22号館大食堂を控室として利用するそうですが、日

常で大学生や職員が利用すること、範囲が広すぎて充分に消毒作業ができない点から

下記2箇所を考えます。また、ソーシャルディスタンスを保つために使用する机に一

定距離を保つよう机に※3使用（着座）禁止の貼紙を行う。

　a）本学はカフェロータス、対戦相手は10号館1015教室、審判員は2022教室を使用

　　b）入室1時間前（試合開始3時間前）に噴霧器を用いて事前消毒作業の実施と手指

消毒ディスペンサーの設置、退出を試合終了1時間後に設定し、退出後に噴霧器

にて事後消毒作業の実施とディスペンサーの回収、また廊下やトイレ・水場の消

毒を実施する。

　　※本学部員の誘導配置あり

**3）駐車場について**

a）駐車場の事前案内の実施

　 b）本学は大学北側学生駐車場を利用、対戦相手は大乗殿裏学生駐車場を利用する。

　　c）申請のある荷物車は10号館前、申請外スタッフ車輌は正門前の臨時駐車場（バス

駐車場の反対側）を利用する。

　　※本学部員の誘導配置あり

**4）審判員について**

　　審判員は八百長防止対策として事前に明かされないため、正門にて記入し、検温作業

を行う。また、車輌は以下の通りとする。尚、一般業者同様に守衛所にて記入をし、入

構証（駐車証）を配布する。埼玉県サッカー協会審判部に状況を説明し、事前に情報提

供が可能になれば荷物車と同様に扱う。

　　a）図書館前駐車場を利用（最大4名見込み）

　　b）本学が定めるルールに則る

※本学部員の誘導配置あり

**5）運営役員の感染防止対策について**

　　前述した通り、選手よりもリスクがある運営役員については、会場校である本学部員

が行うが、マスクの着用は大前提とした上で、念のために以下の感染対策を実施する。

　　a）本部役員（記録役員4名・会場責任者1名・担架役員4名）

　　　(1) 筆記用具の共有禁止

　　　(2) 飲物の共有禁止

　　　(3) 役員間にパーテーションの設置（6枚購入済み）

　　　(4) サーキュレーターの設置（3台購入済み）

　　　(5) マスクの着用

　　　(6) 飲水タイム・ハーフタイム・試合前後に手指消毒の実施

　　b）ボールパーソン

　　　(1) ニトリストグローブの着用

　　 (2) マルチボールの消毒作業

**6）ベンチ役員（スタッフ）・控え選手の感染防止対策について**

　　　(1) 1チーム2つのテントを配置し、密にならぬよう最低限のイスを1.5ｍ以上離

して配置する

　　　(2) ベンチ内でもマスクの着用を義務付ける

　　　(3) 交代選手のアップゾーンを広く設定する

　7**）出場選手の感染防止対策について**

　　　(1) 試合前の整列セレモニーは行わず、記念撮影は距離を置いて行う

　　　(2) 飲水タイム・クーリングブレイク時にも手指消毒を促す

　　　(3) ハーフタイム等のミーティング時も密にならないよう本部から促す・注視する

　　　(4) 試合前後の両チーム間・ベンチ間の挨拶は実施しない

　　　(5) 試合後のクールダウンは指定したエリアで密にならないよう行う

　8**）ガイドラインの周知徹底**

現地調査ならびに視察したところ、間違いなく他大学会場より厳しいガイドラインとなっている。しかしながら、感染リスクを1％でも下げることに充分すぎることはなく、本学だけでなく、対戦相手もこれを理解し遂行することが必須なため、次の理事会（オンライン・9/20）で本ガイドラインを展開し、少しでも安心安全にプレーできるよう周知徹底して頂く。尚、私の判断から本学会場での対戦相手の感染防止対策に疑念や限界を感じた場合は、本学内で感染者を出さないために連盟にリーグ戦開催中であっても会場提供の拒否を行います。

　9**）最後に**

ここまで自粛によって大会が減り、大学によっては大会を辞退して辛い思いをしてい

る選手が多くいます。その選手たちからこれ以上、試合を奪うことなく少しでも安心し

てサッカーに邁進できるよう本ガイドラインを作成致しました。

以上

サッカー部監督

今成知尚